

ふるさとふちゅう

再発見

【第32回】 府中町で体験、四国お遍路（18） 鵜上寺（5）

鵜上寺から南西方向を眺めると、繁茂した草木の中に手水鉢が一つ見えます。これは府中村で医師・村役人などを務めた原田家の庭園跡と手水鉢です。原田家は『芸州府中荘誌』によると安芸国の守護武田氏の一族で原田姓を名乗り府中村で医業を開きました。医師の他、江戸時代後期の原田春耕や原田春台は漢学者としても有名で、頼山陽の父である頼春水とも交流がありました。「春水日記」（『頼山陽全書』第8巻）には春水が原田家を訪ねたり、原田春耕が春水の家に来たという記事が多くあります。春水は龍仙寺もよく訪れています。府中村は文化人が多く、広島城下からほどよい距離にある景勝地だったのでしょう。

家に寄贈されたものです。この手水鉢に水を張ると宮島の島の姿が映ったと言います。同書には桃縁斎貞佐がこの手水鉢を詠んだ「松におく霜はしらゆふ宮しまや よるべの水か石鉢に影」という歌を載せています。桃縁斎貞佐は江戸時代中期の人で、広島を代表する狂歌師です。『芸備先哲伝』によると備中出身で広島の前川家の養子となり、町役人も勤めています。幼少時から蹴鞠・三弦・尺八・点茶・插花・囲碁・俳句などを学んだ多彩な人です。

現在、原田家は町外に移転され、庭園の一部と手水鉢がかつての姿を伝えるのみです。



原田家庭園跡に残されている手水鉢

府中町文化財保護審議会委員

菅 信博

正しいごみ出しにご協力を

家庭ごみは、朝8時30分までに指定されたごみステーションへ

府中町環境センター ☎286-3266

ごみの不法投棄は犯罪です

町が収集できないごみ※を出すことは、不法投棄となります。

※町外からのごみの持ち込み、事業活動によるごみ、家電4品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機）、大型の健康器具、建築廃材、自動車、バイクの部品など。詳しくは「家庭ごみの正しい出し方」をご覧ください。

町では現在、ごみステーションのパトロールを行い、不法投棄の疑いがある場合は、警察と連携して対応しています。ごみを違法に捨てた場合、5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金に処せられます。

ごみ出しのルール・マナーを守りましょう

- ・収集当日の午前8時30分までに出してください。
早朝に出すときなどは、静かに出しましょう。
- ・生ごみは水分をよく切り、カラス対策のため新聞紙などで見えないように包んで透明または半透明の袋で出してください。
- ・分別ルールに従い、ごみステーションに出してください。

祝日の収集

- | | |
|----------|-------------|
| 9月18日(月) | 敬老の日 |
| ◆普通ごみ | (月)・(休)収集地区 |
| ◆有価物 | (月)収集地区 |
| ◆大型ごみ | 桃山二丁目、青崎中 |

広告

広告